取扱説明書　保管用

yamada

ＬＥＤシーリング

（天井、傾斜天井付兼用・軒下対応）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方や、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：配線器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕 様

品　番	光　源	適合電圧	周波数	消費電力
AD-2601-L	東芝製ＬＥＤユニット　フラット形 LDF17L-WGX53/2(電球色)×１灯	AC100V(±6%)	50/60Hz	16.6W
AD-2602-L				

この取扱説明書のマークについて

⚠ **警告**　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ **注意**　説明書中の「注意」は、物損および障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークのついている説明文は必ず守っていただく事項です。
🚫 このマークのついている説明文は行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

⚠警告

🚫 次のような場所には取り付けないでください。
●補強材のない場所への取り付け
●石膏ボードなどの弱い建材面への取り付け
●凹凸のある面への取り付け
★防水性が損なわれ、器具の破損による器具漏電、感電事故の原因となります。
●浴室など湿気の多い場所
●サウナへの使用
★器具の破損によるけがや漏電、感電事故の原因となります。

🚫 取付方向が指定されている器具は、取扱説明書及び本体表示にしたがって正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下によるけがの原因となります。

❗ ＬＥＤ光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分にご注意ください。

🚫 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

🚫 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙・発火やＬＥＤ光源寿命低下の原因となります。

🚫 濡れた手で触らないでください。
★感電の原因となります。

⚠注意

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で８～１０年後には外観に異常が無くても内部劣化が進んでおります。
点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度３０℃、年間３０００時間点灯です。(JIS C8105-1 解説による)
周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

❗ ＡＣ１００Ｖ専用です。必ずＡＣ１００Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
★定格電圧（１００Ｖ）以外で使用した場合、器具寿命が短くなる事があります。

❗ この器具は周囲温度5℃～３５℃の中で使用してください。
★過熱して発煙や発火、光源寿命短縮の原因となります。

🚫 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるセードの変形や火災の原因となります。

🚫 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるセードのヒビ割れなどの原因となります。

❗ 接地（アース）工事は法規で定められていますので、必ず行なってください。

🚫 点灯中や消灯直後の光源ユニット、器具内には触らないでください。
★火傷の原因となります。

🚫 ヒビの入ったカバーや一部欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

🚫 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。

※ 同品名商品のＬＥＤ光源でも色・明るさに多少のバラつきがある場合があります。予めご了承ください。

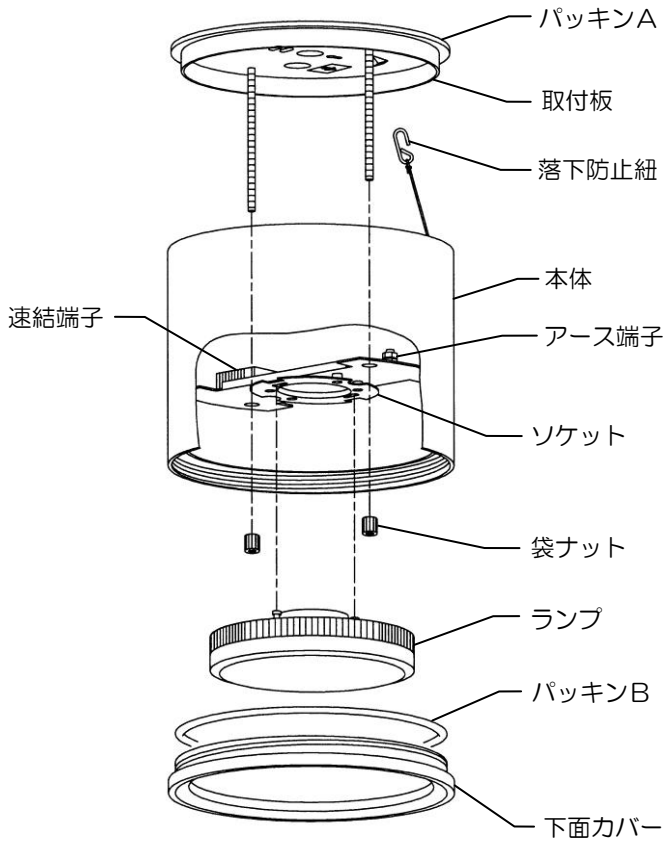
※ 照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承ください。

※ 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予めご了承ください。

各部の名称

（説明図は一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品などがあった場合には、お買い上げ店または、山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

【器具構成図】



【付属品】

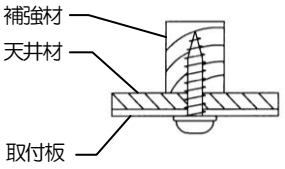
- LDF17L-WGX53/2（東芝製）・・・1個
- 木ネジ・・・2本
- 絶縁座金・・・2個
- 保護チューブ・・・2本
- 取扱説明書（本書）・・・1枚
- 保証とアフターサービスについて（別紙）・・・1枚

取り付け場所の確認

⚠ 警告

付属の木ネジで取り付ける場合、必ず補強材のある場所に取り付けてください。

★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となる事があります。
★コンクリートなど付属の木ネジを直接取り付けられない場合には、金属製木ネジプラグ（カールプラグ等）を別途施工してから取り付けてください。



建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれにあります。
そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

取り付け面に凹凸がある場合は、パッキンと取り付け面との隙間を防水シールなどで埋めてください。

★防水が不完全な場合、火災・感電・器具の落下事故の原因となる事があります。

取り付け方

⚠注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

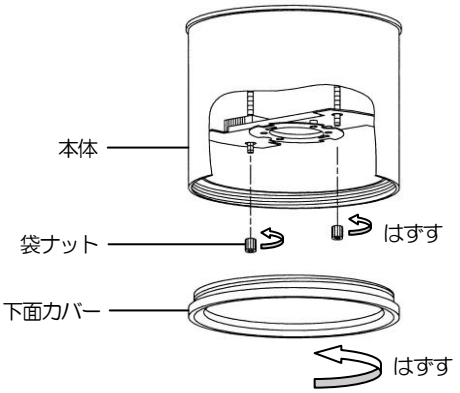
⚠ 警告

器具取り付けは、重量の耐えるところに説明書に従い行なってください。

★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災・感電事故の原因となる事があります。

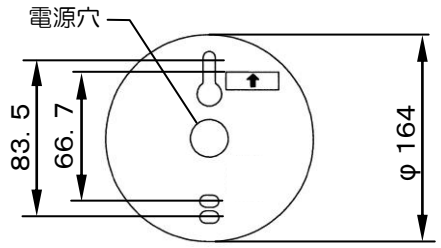
●器具を取り付ける前に

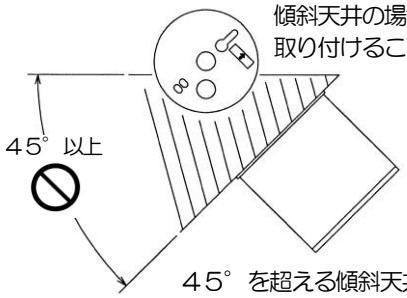
1．下面カバーを左に回して、本体からはずしてください。
2．袋ナット2個を左に回して、取付板と本体をはずしてください。



1．取付板を取り付けます。

1．電源線をパッキンAと取付板の電源穴から通してください。
2．付属の木ネジ2本と絶縁座金2個で取付板を補強された天井に取り付けてください。



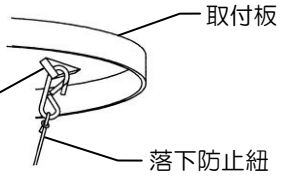


45°を超える傾斜天井には取り付けない。
★指定角度より角度の大きい天井への取り付けは、落下の原因となる事があります。

2．電源線を接続します。

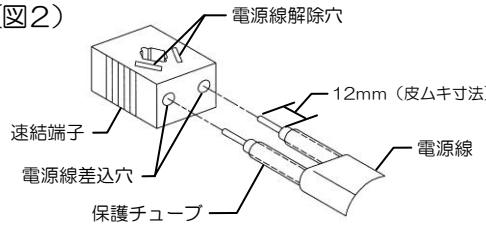
1．本体に付いている落下防止紐を取付板の紐引掛部に引掛け、先端をペンチ等で曲げてください。（図1）
2．電源線に保護チューブを通して速結端子に接続してください。（図2）
3．アース線を本体内のアース端子に接続してください。（図3）

（図1）



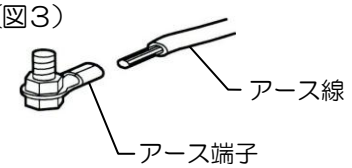
先端をペンチ等で曲げて、紐引掛部から外れないようにしてください

（図2）



適合電線は単線φ1.6、φ2.0

（図3）

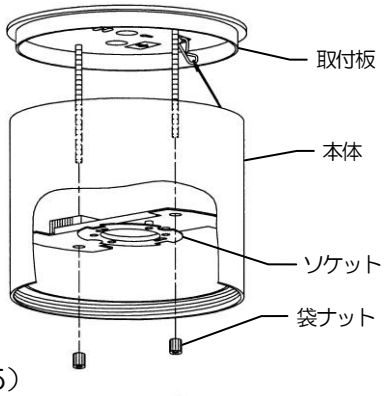


電気設備技術基準に準じてD種（第3種）接地工事を行う。
★アース工事が不完全な場合は、感電・火災の原因となる事があります。

3．本体を取り付けます。

1．本体に取付板のネジを通して、袋ナット2個で確実に固定してください。（図4）

（図4）



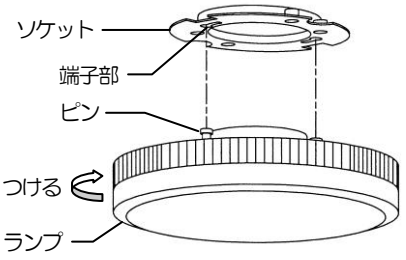
4．ランプを取り付けます。

1．ソケットの端子部とランプのピンの位置が合うようにランプを押し上げます。（図5）
2．カチッと音がするところまでランプを右に回してください。（図5）

⚠注意

ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプの破損の原因となります。

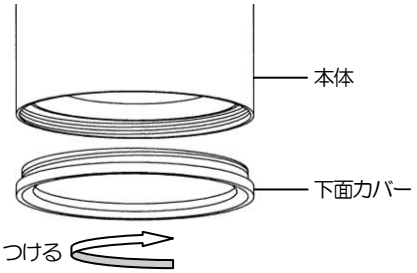
（図5）



5．下面カバーを取り付けます。

1．下面カバーにパッキンBが装着されていることを確認し、下面カバーを右に回して本体に締め込んでください。（図6）

（図6）



スイッチ操作

●壁スイッチにて『ON-OFF』操作を行ないます。

お手入れについて　⚠注意　必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。
冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。

●濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。

●ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする原因となります。

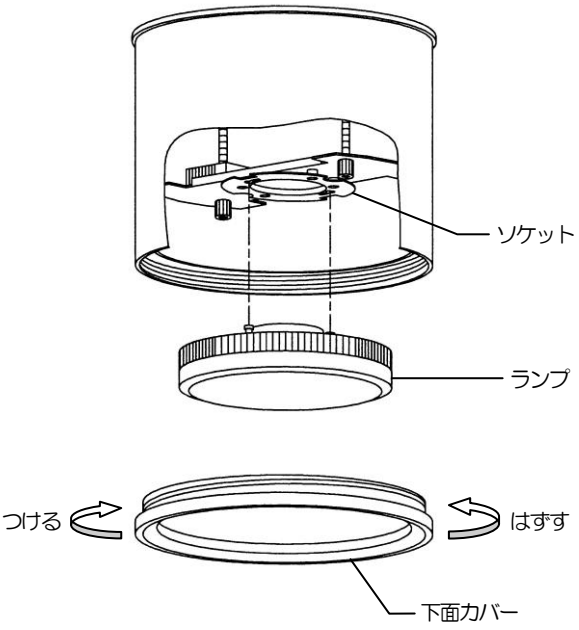
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常過熱による火災の原因となります。

●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換

■ランプ使用上のご注意

●LED 照明器具の光源寿命（※）は、40,000 時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
※光源寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の 70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。



1．スイッチを切ります。

⚠注意

●ランプ交換時、ぬれた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。

2．下面カバーを左に回してはずし、ランプの交換を行います。

⚠注意

ランプは乱暴に取り扱わないでください。
★ランプ割れなどの事故の原因となります。

下面カバーにヒビが入っていたり一部が欠けている場合には、ただちに新しい下面カバーと交換してください。
★セードの破損、落下事故の原因となります。

3．下面カバーを右に回して本体に締め込んでください。

◆お手入れのしかた

1．スイッチを切ります。
2．柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の品番**（器具本体のラベルでご確認ください。）、**故障の状況、ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。